

洗濯に対する染色堅ろう度試験方法

正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	7.2	B 法は、…試験とする。 (記載なし。)	B 法は、…試験とする。 表 9 に従い、試験液及びステンレス鋼球の規定個数を規定容量の試験瓶の中へ入れ、試験瓶を予熱して試験液を規定温度にした後、これに複合試験片を入れて密閉し、洗濯試験機に取り付ける。試験機を規定時間運転した後、複合試験片を試験瓶から取り出し、水洗 (25 °C ± 2 °C の水 100 ml で 1 分間) を 2 回繰り返した後、JIS L 0801 の 8. (操作) の方法によって脱水、乾燥する。 なお、次亜塩素酸ナトリウムは、B-13 号及び B-14 号において、試験片が毛、絹又はこれらの混用品でない場合に限り用いることができ、有効塩素濃度が 0.015 % になるように添加する。

平成 17 年 7 月 1 日作成